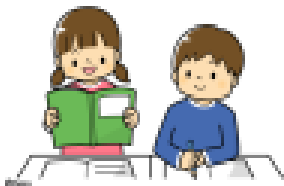




あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかり考える子 ことばを大切にする子

全国学力・学習状況調査の結果から

○本年度 4 月に全国の小学校 6 年生及び中学校 3 年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果が 9 月下旬に公表されました。学力面では、以前にも増して各都道府県の差が縮まり、いわゆる「底上げ」が進んでいるようですが、国語については、「漢字やローマ字を書き取る能力・質問の意図や相手の話の趣旨を考える能力」、算数については、「基本的な計算力・空間図形の理解力・根拠に基づいて論理的に説明する能力」等に課題があることが報告されています。



○本校は、国語 B・算数 B で、県・全国平均レベルを上回っていますが、国語 A・算数 A については、県・全国平均にはやや届いていないという結果が出ています（A は基礎、B は活用問題）。少人数であることの良さを生かし、子どもたちの学習意欲を高めながら、習ったことを生活の中で活用したり、既習の知識を使って考えたりする学習を丁寧に積み重ねてきたことが成果となって表れています。が、全国の課題と同じように、問題の意味をしっかりと理解した上で答えることや、根拠を明確にして話したり書いたりすることにまだ課題があることが分かりました。教員の授業力向上を図りながら、その課題克服に向けての取組を今後も継続していきます。



○さらに、家庭・地域との協力も不可欠です。本校児童は、「早寝・早起き・朝ご飯・テレビやゲームの時間」といった生活習慣にやや課題があります。一方で、「宿題をきちんとしている・授業の予習や復習をしている・学校が休みの日にも計画的に勉強できている」といった学習習慣はとてもよく身に付いています。学習や活動への更なる意欲を生み出し、より高い目標に向かって挑戦する児童を育てるためにも、規則正しく落ち着いた生活習慣を築いていただければ幸いです。

○今回の調査で特筆すべき点として、自尊感情や規範意識がかなり高いこと、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた本校児童が 100% だったということがあげられます。『自分を大切に思うことができる子どもは、他人も大切にすることができる』ということなのでしょうね。本校の伝統として今後も是非引き継いでいきたいものです。

